

実施協議報告書

第1章 プロジェクト枠組みの整理

1 - 1 現地関係機関への説明会

2003年7月9日にMIDAの各専門局（農村開発局、農業局、畜産局、植物防疫局）MIDA県事務所及び地方出張所、共同組合庁など現地関係機関に対して新規プロジェクトの説明会を開催した。2002年8月から高橋専門家が中心となりパイロット展示圃場として活動してきたパソリアル村の農民グループを午前中に訪問、午後はINA敷地内の実証展示・研修圃場を見学した後、INAにてプロジェクト概要の説明を行い、関係者間の意見交換を行った。

(1) 展示圃場視察

パソリアル村の教会で農民グループの参加者（男性15名、女性7名）の自己紹介の後、数人が順次、グループの歴史、グループの目標（村落の栄養・経済状態の改善）活動内容などについて説明した。関心をひくコメントとしては「水問題はあるが、自分たちの資源（土地、労働力）を活用することで解決できる」、「他ドナーからの支援でトラクター供与などの例があるが故障すると修理できないのでそのような支援は不要」など。また、INAからの技術支援に対して、「以前は化学肥料の問題点は感じていても具体的な代替案が不明だったが、化学肥料に依存していた農法から自然農法に移行するための農業技術を学んだ」と高く評価。農民グループからの説明終了後、農民の説明を受けながらコミュニティ内の共同展示圃場を見学した。

(2) プロジェクト概要の説明

高橋専門家のC/Pのネルソン氏が新規プロジェクト案の位置付け、上位目標、プロジェクト目標、成果、活動、投入（日本国側及びパナマ国側）、実施体制及び展示圃場における今までの活動の経緯（選択基準、農村調査他）について説明した。続いて、質疑応答及びコメントの時間が設けられたが、提案された新規プロジェクト案に対して大きなコメントは無く、合意に至った。

今までの物的援助による農園プロジェクトは終了後に持続性がないという教訓から、出席者全員が長期的な展望をもった普及の重要性を強調し、プロジェクトに対する期待が述べられた。午前中に展示圃場を見学したこともプラスに影響し、プロジェクトが提案している「農民から農民へ」という普及方法が持続性の観点から高く評価された。

なお、農村開発局からの各専門局とプロジェクトとの協力関係に関する質問に対し、プロジェクト側より1)パソリアル村のような展示圃場（3カ所）を新たに開設するにあたり対象村落選定のための情報提供、2)各専門局に蓄積された技術のノウハウの提供（情報提供及び展示圃場における実演他）などが依頼され、各専門局の出席者も情報・ノウハウの提供に同意した。

MIDA国際協力局の出席者は、プロジェクト実施前に環境インパクト調査を行う必要があることを指摘したが、他のパナマ国側参加者から本プロジェクトが提案している（現在INAが推進している）普及技術は化学肥料を使用せず有機栽培や減農栽培など自然農法に基づく環境に対する負荷が少ないもので調査不要と反論したが、最終的にはMIDAの環境局がR/D署名

前に環境インパクト調査を実施することで合意した。

(3) 出席者リスト

パナマ側出席者

MIDA Dirección de Desarrollo Rural (農村開発局)

Ing. Irán Antipara 副局長

Licdo. José Bósquez

Licdo. Fernando Gómez (農村経済部)

MIDA Dirección de Agricultura (農業局)

Ing. Nivaldo Vargas 副局長

Ing. Sebastián Mirones

MIDA Dirección de Ganadería (畜産局)

Dr. Justo De Gracia 副局長

MIDA Dirección de Sanidad Vegetal (植物衛生局)

Ing. José Concha

Ing. José García

MIDA DICOI (国際協力局)

Ing. Víctor Torres

INA

Dr. José Domingo Rodríguez 校長、

Ing. Nelson Fernández C/P

Ing. Joel Canto C/P

Ing. José González C/P

Ing. Giselle Guevara コンサルタント(事前評価調査実施)

日本側出席者

JICA パナマ事務所

甲斐 直樹 所長

遠藤 浩昭 次長

玉井 貴子 企画調査員

カルロス サンプラーノ ナショナルスタッフ

個別専門家

高橋 貞雄 専門家

1 - 2 プロジェクト実施上の留意点

(1) 物的支援プロジェクトの教訓

プロジェクトからは最低限の資機材の投入と技術支援に止め、農民の自助努力を損なわないように留意する。また、プロジェクトは農民グループが農業技術のみでなく、展示圃場の運営能力も向上可能な技術指導及びアドバイスを適宜行う。

(2) 展示圃場候補地の選択

展示圃場を 3 県の 4 カ所に開設、運営することで、異なる地域特性や自然条件および MIDA 県事務所との協力のあり方などを分析し、モデルの汎用性を高めることを目的としている。

なお、協力対象地域として貧困地図を基に郡レベルまでを選定している(本文 5-2 参照)が、郡の下での地区レベルではあまり地域間格差は存在しないが、郡レベルでは地域間格差が存在するため、その点に留意して展示圃場の候補地を選択する必要がある。

(3) 展示効果

プロジェクトは、展示圃場につき、1) 貧困指標、2) 組織力のレベル、3) 立地条件をクライテリアとして選択する。立地条件とは、周辺の村落が町に出かけるときにその村落を通過するという条件である。例えば、INA が現在まで一年間活動を行っている展示圃場(パソリアル村落)の場合、周辺に 20 数村落が存在し、周辺村落から町に出る場合には必ずパソリアル村落を通過する。

この展示圃場の展示効果は、わざわざ見に行かなくても目に入ることから、能動的でないが受動的な勧誘となる。また、同じ立場の農民が展示圃場を運営していることから、「自分たちにもできる」という肯定的な受け取られ方が期待できる。

(4) パナマ実施体制上の留意事項

行政機関の長(大臣)の権限が非常に強く「上意下達」が徹底しているため、案件形成や事業実施にあたっては事前に大臣の了解を得ておくことが肝要である。また、省庁間の連携意識が希薄なため、複数の機関から情報を収集したり実施を督促するなど、我が方が積極的に動く必要がある。貧困対策の観点から、MIDA 以外にも、大統領府、厚生省、国民福祉省や他ドナーが農村開発プロジェクト(農園づくり他)を実施しているので、プロジェクト対象地域で活動しているこれらの機関とも定期的な会議を開き、活動の調整及び連携の強化を行う。

1 - 3 相手国との協議結果

プロジェクト関連機関、要請機関、プロジェクト・サイト対象予定地域の訪問・調査、MIDA との協議を踏まえ、協議議事録で以下の項目について合意した(詳細は付属資料 B 参照)。

(1) 名称(仮称) The Sustainable Agricultural Training and Extension Project in Rural Areas
in the Republic of Panama

(2) 協力の基本計画(案)(Annex1)

(3) プロジェクト本部と対象地域

プロジェクト本部はエレラ県デヴィサ市内の INA 内に設置する予定である。プロジェクト対象地域は、コクレ県オラ郡、エレラ県ラス・ミナス郡、ベラグアス県サン・フランシスコ郡およびラ・メサ郡となる予定である。

(4) 実施機関

INA がプロジェクト実施機関となる。MIDA 大臣がプロジェクトディレクターであるが、INA 校長がプロジェクトマネージャーとなる。

(5) プロジェクト期間

日本、パナマ両国のプロジェクト実施の準備が整えば 2004 年 1 月から 3 年間の協力を実施する。

(6) 日本国側投入

1) 長期専門家：3 名

(チーフアドバイザー/農業普及、農業研修運営・管理/参加型開発/業務調整)

2) 短期専門家：2 名/年(ジェンダー、有機農業など)。分野によっては第三国専門家活用

3) 研修員受入：

本邦研修「農業普及企画管理者」等 年間 2~4 名

第三国研修 年間 2~4 名

4) 機材供与

5) 現地業務費

(7) パナマ国側投入

1) 人員：INA スタッフ 5 名、地方支所普及員 4 名、秘書、運転手 など

2) 施設：プロジェクト事務所、INA の実証展示研修圃場 など

3) 予算措置

(8) プロジェクト実施のための調整

プロジェクト実施全体を通して、農牧開発省と PATRONATO(公共非営利団体)が実施中の「持続的生産農園プロジェクト」のような他の協力プロジェクトとの調整のために必要な全ての措置がとられることとする。

(9) プロジェクト形成までの手順

1) パナマ国側は R/D 調印後 1 カ月以内に JICA に対し、3 年間の全協力期間に有効な日本側長期専門家の正式要請書(A1 フォーム)を提出する。

2) パナマ国側は 2003 年 12 月末までに JICA に対し、協力期間の初年度有効な機材供与の正式要請書(A4 フォーム)を提出する。

1 - 4 実施協議に至るまで

MIDA は JICA 技術協力プロジェクトの C/P 機関となる経験が皆無であったため、MIDA の国際協力局担当者で行った R/D の内容に関する打合せに時間を要した。

なお、パナマ国側との R/D 案の合意形成後も農牧開発大臣の度重なる海外出張のためスケジュール調整がかなわず、最終的に 2003 年 12 月 9 日に農牧開発大臣とパナマ事務所長による R/D 署名が行われた。

**実施協議
付 属 資 料**

- 1 . 合意議事録 (Record of Discussions)(英文)
- 2 . 協議議事録 (Minutes of Meeting)(英文)
- 3 . メモランダム (Memorandum)(英文)
- 4 . 実施計画案 (Tentative Schedule of Implementation)(英文)
- 5 . 合意議事録 (Resumen de Discusiones)(西文)
- 6 . 協議議事録 (Minutas de Discusiones)(西文)
- 7 . メモランダム (Memorandum)(西文)
- 8 . 実施計画案 (Programa Tentativo de Ejecución)

RECORD OF DISCUSSIONS
 BETWEEN THE JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY
 AND THE AUTHORITIES CONCERNED OF
 THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF PANAMA
 ON JAPANESE TECHNICAL COOPERATION FOR
 THE SUSTAINABLE AGRICULTURAL TRAINING AND EXTENSION PROJECT
 IN RURAL AREAS IN THE REPUBLIC OF PANAMA

The Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") had a series of discussions, through its Resident Representative in the Republic of Panama, with the Panamanian authorities concerned on desirable measures to be taken by both Governments for successful implementation of the Sustainable Agricultural Training and Extension Project in Rural Areas in the Republic of Panama.

As a result of the discussions, JICA and the Panamanian authorities concerned agreed to recommend to their respective Governments the matters referred to in the document attached hereto.

Done in duplicate in Spanish and English languages, each text being equally authentic. In case of any divergence of interpretation, the English text shall prevail.

Panama City, December 9th, 2003.

甲斐直樹

Mr. Naoki Kai
 Resident Representative
 Panama Office
 Japan International Cooperation
 Agency
 Japan

Lynette Stanzola

Ms. Lynnette M. Stanzola
 Minister
 Ministry of Agricultural Development
 Republic of Panama

*version ingles
 me para dar
 JICA*

ATTACHED DOCUMENT

I. COOPERATION BETWEEN BOTH GOVERNMENTS

1. The Government of the Republic of Panama will implement the Sustainable Agricultural Training and Extension Project in Rural Areas in the Republic of Panama (hereinafter referred to as "the Project") in cooperation with the Government of Japan.
2. The Project shall be implemented in accordance with the Master Plan which is given in ANNEX I.

II. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF JAPAN

In accordance with the laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will take, at its own expense, the following measures through JICA according to the normal procedures under the technical cooperation scheme of Japan.

1. DISPATCH OF JAPANESE EXPERTS

The Government of Japan will provide services of the Japanese experts as listed in ANNEX II.


2. PROVISION OF MACHINERY AND EQUIPMENT

The Government of Japan will provide such machinery, equipment and other materials (hereinafter referred to as "the Equipment") necessary for the implementation of the Project as listed in ANNEX III. The Equipment will become the property of the Government of the Republic of Panama upon being delivered C.I.F. (cost, insurance and freight) to the Panamanian authorities concerned at the ports and/or airports of disembarkation.

3. TRAINING OF PANAMANIAN PERSONNEL IN JAPAN

The Government of Japan will receive Panamanian personnel connected with the Project for technical training in Japan.

*Version inglés
propiedad
JICA
Panamá
1980*



III. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF PANAMA

1. The Government of the Republic of Panama will take necessary measures to ensure that self-reliant operation of the Project will be sustained during and after the period of Japanese technical cooperation, through full and active involvement in the Project by all related authorities, beneficiary groups and institutions in the Project.
2. The Government of the Republic of Panama will ensure that the technologies and knowledge acquired by the Panamanian nationals as a result of Japanese technical cooperation will contribute to the economic and social development of the Republic of Panama.
3. The Government of the Republic of Panama will grant in the Republic of Panama, privileges, exemptions and benefits as listed in ANNEX IV no less favorable than those granted to experts of third countries or international organizations performing similar missions to the Japanese experts referred to in II-1 above and their families.
4. The Government of the Republic of Panama will ensure that the Equipment referred to in II-2 above will be utilized effectively for the implementation of the Project in consultation with the Japanese experts referred to in ANNEX II.
5. The Government of the Republic of Panama will take necessary measures to ensure that the knowledge and experience acquired by the Panamanian personnel from technical training in Japan will be utilized effectively in the implementation of the Project.
6. In accordance with the laws and regulations in force in the Republic of Panama, the Government of the Republic of Panama will take necessary measures to provide at its own expenses:
 - (1) Services of the Panamanian counterpart personnel and administrative personnel as listed in ANNEX V;
 - (2) Land, buildings and facilities as listed in ANNEX VI;

revisión mjs
preparada por
SICA
R.D.


[Handwritten signature]

- (3) Supply and replacement of machinery, equipment, instruments, vehicles, tools, spare parts and any other materials necessary for the implementation of the Project, other than the Equipment provided through JICA under II-2 above;
 - (4) Means of transport and travel allowances for the Japanese experts for official travel within the Republic of Panama; and
 - (5) Suitably furnished accommodations for the Japanese experts and their families;
7. In accordance with the laws and regulations in force in the Republic of Panama, the Government of the Republic of Panama will take necessary measures to meet:
- (1) Expenses necessary for transportation within the Republic of Panama of the Equipment referred to in II-2 above as well as for the installation, operation and maintenance thereof;
 - (2) Customs duties, internal taxes and any other charges imposed in the Republic of Panama on the Equipment referred to in II-2 above; and
 - (3) Running expenses necessary for the implementation of the Project.

IV. ADMINISTRATION OF THE PROJECT

1. The Minister of Agricultural Development, as the Project Director, will bear overall responsibility for the administration and implementation of the Project.
2. The Project Manager will be responsible for the managerial and technical matters of the Project.
3. The Japanese Chief Advisor will provide necessary recommendations and advice to the Project Director and the Project Manager on any matters pertaining to the implementation of the Project.
4. The Japanese experts will give necessary technical guidance and advice to the Panamanian counterpart personnel on technical matters pertaining to the implementation of the Project.

*Version mto
preparada por
SIOA
Muy bien*



5. For the effective and successful implementation of technical cooperation for the Project, a Joint Coordinating Committee will be established whose functions and composition are described in ANNEX VII.

V. JOINT EVALUATION

Evaluation of the Project will be conducted jointly by the two Governments through JICA and the Panamanian authorities concerned, at the middle and during the last six months of the cooperation term in order to examine the level of achievement.

VI. CLAIMS AGAINST JAPANESE EXPERTS

The Government of the Republic of Panama shall bear claims, if any arises, against the Japanese experts engaged in technical cooperation for the Project resulting from, occurring in the course of, or otherwise connected with the discharge of their official functions in the Republic of Panama except for those arising from the willful misconduct or gross negligence of the Japanese experts.

VII. MUTUAL CONSULTATION

There will be mutual consultation between the two Governments on any major issues arising from, or in connection with, this Attached Document.

VIII. MEASURES TO PROMOTE UNDERSTANDING OF AND SUPPORT FOR THE PROJECT

For the purpose of promoting support for the Project among the people of the Republic of Panama, the Government of the Republic of Panama will take appropriate measures to make the Project widely known to the people of the Republic of Panama.

IX. TERM OF COOPERATION

The duration of technical cooperation for the Project under this Attached Document will be three (3) years from January 15, 2004.

*version ingles
preparada por
JICA
L. P. P. P.*

- ANNEX I MASTER PLAN
- ANNEX II LIST OF JAPANESE EXPERTS
- ANNEX III LIST OF MACHINERY AND EQUIPMENTS
- ANNEX IV PRIVILEGES, EXEMPTIONS AND BENEFITS FOR JAPANESE EXPERTS
- ANNEX V LIST OF PANAMANIAN COUNTERPART PERSONNEL AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL
- ANNEX VI LIST OF LAND, BUILDINGS AND FACILITIES
- ANNEX VII JOINT COORDINATING COMMITTEE

*version in files
prepara da por
SICHA*

W

ANNEX I MASTER PLAN

I. Overall Goal

Farmers of the project target area increase their productivity through applying appropriate agricultural technology in harmony with the environment.

II. Project Purpose

A sustainable agricultural extension model is established for small-scale farmers.

III. Outputs of the Project

1. Appropriate agricultural techniques are adopted by farmers at the pilot farms.
2. Training courses on the participatory agricultural extension are conducted at INA.
3. Agricultural extension service is conducted by the pilot farms to the neighboring communities through the farmers initiative.
4. Agricultural extension service initiated by farmers is promoted.

IV. Activities of the Project

1. Adoption of appropriate agricultural techniques
 - 1-(1) Identify the target communities to establish the pilot farms
 - 1-(2) Conduct participatory rural appraisals at the selected communities
 - 1-(3) Prepare Annual Work Plan for the pilot farms with the farmers
 - 1-(4) Transfer agricultural technology including farm management
 - 1-(5) Coordinate with other organizations working in the same community
 - 1-(6) Monitor and evaluate the activities with the farmers
2. Participatory agricultural extension training
 - 2-(1) Conduct needs analysis of the farmers
 - 2-(2) Prepare the curriculum of the training
 - 2-(3) Train the instructors
 - 2-(4) Prepare the materials
 - 2-(5) Conduct the training courses
 - 2-(6) Evaluate the training courses and materials
3. Agricultural extension service to the neighboring communities
 - 3-(1) Furnish the necessary information to the pilot farms for the demonstration purpose
 - 3-(2) Strengthen the groups of the pilot farms in order to disseminate their activities
 - 3-(3) Conduct field trips
 - 3-(4) Promote the cooperation networking of the farmers
4. Agricultural extension service through the farmers initiative
 - 4-(1) Compile useful information for the farmers

Version mgs
prepara a new
SICAH
ll

ll

- 4-(2) Establish the farmers information exchange center at INA
- 4-(3) Conduct meetings between farmers and extension workers to exchange information
- 4-(4) Coordinate rural development activities with other related organizations

In case in which the Master Plan should be modified due to the situation of the Project, both Governments will agree to and confirm the modifications by exchanging Minutes of Meetings.

*version mofes
mepwada per SIAI
ad.*

h

ANNEX II LIST OF JAPANESE EXPERTS

1. Long-term experts:

- (1) Chief Advisor
- (2) Coordinator
- (3) Agricultural Extension
- (4) Planning and Management of Agricultural Extension Training
- (5) Participatory Development

Note: Some of the experts will be in charge of two fields.

2. Short-term experts

Short-term experts will be dispatched when the necessity arises for the smooth implementation of the Project.

*Version inglesa
preparada por SIOF
R*

ANNEX III

LIST OF MACHINERY AND EQUIPMENT

1. Machinery, equipment, tools, spare parts and materials for the implementation of the Project.
2. Vehicle(s) and their spare parts
3. Other materials necessary for the implementation of the Project

Version in mgls
preparada por JICM
D.

W

ANNEX IV PRIVILEGES, EXEMPTIONS AND BENEFITS FOR JAPANESE EXPERTS

1. Exemption from income tax and other charges of any kind imposed on or in connection with the living allowances remitted from abroad for the Japanese experts.
2. Exemption from import and export duties and any other charges imposed on personal and household effects of the Japanese experts and their families.
3. Use of all its available means to provide medical and other necessary assistance to the Japanese experts and their families.
4. Issue of entry and exit visas for the Japanese experts and their families free of charge upon application.
5. Issue of identification cards to the Japanese experts and their families to secure the cooperation of all government organizations necessary for the performance of the duties of the experts.
6. Exemption from customs duties for import and export of machinery and equipment by the Japanese experts in connection with the Project activities.

*Decision in regard
prepara cu fur SIC!*

ANNEX V LIST OF PANAMANIAN COUNTERPART PERSONNEL AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL

1. Project Director
2. Project Manager
3. Counterpart Personnel in the following areas:
 - (1) Agricultural Extension
 - (2) Planning and Management of Agricultural Extension Training
 - (3) Participatory Development
4. Other technical personnel when necessity arises
5. Administrative Personnel
 - (1) Administrator
 - (2) Accountant
 - (3) Secretaries
 - (4) Drivers
 - (5) Watchmen
 - (6) Farm workers
 - (7) Other necessary supporting staff

versión ingles
hecho por JICA
R

6

ANNEX VI

LIST OF LAND, BUILDINGS AND FACILITIES

- (1) Facility for headquarters of the Project in the National Agricultural Institute (INA)
- (2) Training facility of the National Agricultural Institute (INA)
- (3) Other necessary land and facilities for the implementation of the Project

*Decision info
preparada por SICT*

W

ANNEX VII

JOINT COORDINATING COMMITTEE

1. Functions

The Joint Coordinating Committee will meet at least once a year and whenever necessity arises, and work:

- (1) To examine and approve the Annual Plan of Operation to be formulated by the Project in accordance with the Record of Discussions;
- (2) To review the overall progress of Project activities carried out under the above-mentioned Annual Plan of Operation in particular;
- (3) To review and exchange views on major issues arising from or in connection with the Project and to recommend corrective measures; and
- (4) To examine the local budget draft and staffing necessary for the Project.

2. Composition

(1) Chairperson:

Project Director or his/her representative

(2) Panamanian Side:

- 1) Representative of International Cooperation Directorate (DICOI)
- 2) Representative of Rural Development Directorate
- 3) Representative of Agriculture Directorate
- 4) Representative of Livestock Directorate
- 5) Representative of Irrigation and Engineering Directorate
- 6) Representative of Vegetal Sanitation Directorate
- 7) Representatives of Regional Directorates (Cocle, Herrera, Veraguas)
- 8) Representative of Environment Unit
- 9) Project Manager
- 10) Representative of the International Technical Cooperation Department, Ministry of Economy and Finance
- 11) Other personnel that the Chairperson considers necessary

(3) Japanese Side

- 1) Chief Advisor
- 2) Coordinator
- 3) Expert(s) designated by the Chief Advisor
- 4) Additional personnel to be dispatched by JICA, if necessary.
- 5) Resident Representative of JICA Panama Office

Note: Official(s) of the Embassy of Japan in the Republic of Panama may attend the meetings of the Joint Coordinating Committee as observer(s)

*Version en français
préparée par JICA*

kr

MINUTES OF MEETING
BETWEEN THE JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY
AND THE AUTHORITIES CONCERNED OF
THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF PANAMA
ON JAPANESE TECHNICAL COOPERATION FOR
THE SUSTAINABLE AGRICULTURAL TRAINING AND EXTENSION PROJECT
IN RURAL AREAS IN THE REPUBLIC OF PANAMA

The Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") had a series of discussions and exchange of views, through its Resident Representative in the Republic of Panama, with the Panamanian authorities concerned on desirable measures to be taken by both Governments for successful implementation of the Sustainable Agricultural Training and Extension Project in Rural Areas in the Republic of Panama.

Both sides have confirmed that the matters attached hereto are the results of the discussions and have agreed to convey the results to their respective governments.

Done in duplicate in Spanish and English languages, each text being equally authentic. In case of any divergence of interpretation, the English text shall prevail.

Panama City, December 9th, 2003.

甲斐直樹

Mr. Naoki Kai
Resident Representative
Panama Office
Japan International Cooperation Agency
Japan

Lynette M. Stanzola

Ms. Lynette M. Stanzola
Minister
Ministry of Agricultural Development
Republic of Panama

version inglese
me L. Stanzola
5/3/03
L.S.

THE ATTACHED DOCUMENT

I. Framework of the Technical Cooperation project

1. Title of the Project

The Sustainable Agricultural Training and Extension Project in Rural Areas in the Republic of Panama

2. Draft of the Project Design Matrix (PDM) (See ANNEX 1)

3. Headquarters and Target Area of the Project

The Project headquarters will be located at the National Agricultural Institute (hereinafter referred to as "INA") in Divisa, Herrera Province.

The Project will be carried out in the Mountainous areas of the district of Ola in Cocle province, Las Minas in Herrera province, San Francisco and La Mesa in Veraguas province.

4. Executing Organization

The Ministry of Agricultural Development (hereinafter referred to as "MIDA") will be the executing organization for the Project. The Minister of MIDA, as the Project Director, will bear overall responsibility for the administration and implementation of the Project, through the principal of INA, who shall act as the Project Manager.

See the Organization Chart in ANNEX 2

5. Term of Cooperation

The term of cooperation is three years, starting from January 15, 2004, if both sides are ready to implement the Project.

6. Japanese Contribution: Training

(1) Counterpart training in Japan

Approximately three (3) persons per year will be accepted for the counterpart training program in Japan.

(2) Training in Panama

Various forms of training for the staff of MIDA and farmers will be carried out in Panama.

*Version in
the para for
JICA
AP*

7. Coordination for the Project Implementation

Throughout the implementation of the Project, all necessary measures shall be taken in order to coordinate with other cooperation projects such as the projects implemented by MIDA and Patronato Nacional de Nutricion .

II. Further steps to be taken to formalize the Project

1. The Panamanian side will submit formal request forms for Japanese long-term experts (A1 form), valid for the total cooperation period of three (3) years to JICA within one month after the signing of the Record of Discussions mentioned above.

2. The Panamanian side will submit a tentative list of the equipment and material which are considered to be needed for the first year of the cooperation period describing items, use, places to be equipped, numbers, and estimated costs to JICA Panama Office by the end of December, 2003.

After consultation with JICA on the above-mentioned list , the Panamanian side will submit request forms for machinery and equipment (A4 form), valid for the first year of the cooperation period, which define the consignee of the machinery and equipment, to JICA by the end of December 2003.

ANNEX 1 Draft of the Project Design Matrix (PDM)

ANNEX 2 Organization Chart of the Project

*versión original
pre para la reunión
SICM*

W

ANNEX 1: Project Design Matrix DRAFT

Project Title: The Sustainable Agricultural Training and Extension Project in Rural Areas in the Republic of Panama Date of Preparation: August 29, 2003

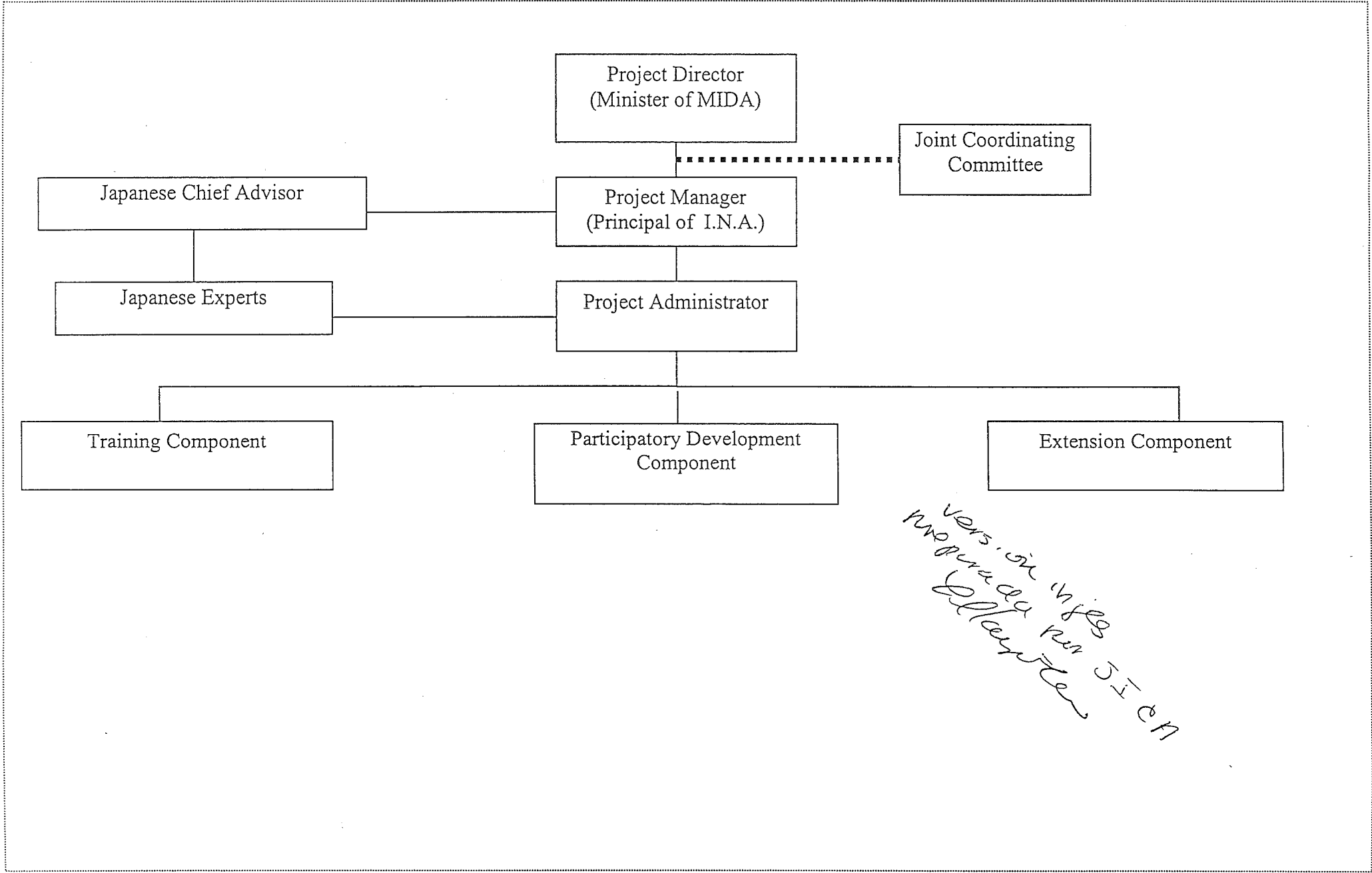
Implementation Period: January 2004 - January 2007

Target Area: the districts of Ola in Cocle, Las Minas in Herrera, San Francisco and La Mesa in Veraguas

Narrative summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumptions
<p><u>Overall Goal</u> Farmers of the project target area increase their productivity through applying appropriate agricultural technology in harmony with the environment.</p>	<p>the harvest of the main crops of farmers of the project target area eg rice 600kg/ha 1.3/ha corn 850kg/ha 1.5/ha beans 400kg/ha 600kg/ha the number of farm products of farmers of the project target area</p>	<p>National Survey on Agriculture</p>	
<p>[Project Purpose] A sustainable agricultural extension model is established for small-scale farmers.</p>	<p>the number of farmers who adopt the agricultural techniques the number of farmers who receive the information from other farmers the number of farmer groups who can plan, implement, and evaluate their activity plan the number of extension workers who practice the participatory agricultural extension</p>	<p>Farmers survey by project Trainees survey by project Project Activity Report</p>	<p>There is no drastic change in natural conditions</p>
<p><u>Outputs of the Project</u> 1 Appropriate agricultural techniques are adopted by farmers at the pilot farms. 2 Training courses on the participatory agricultural extension are conducted at INA. 3 Agricultural extension service is conducted by the pilot farms to the neighboring communities through the farmers' initiative. 4 Agricultural extension service initiated by farmers is promoted.</p>	<p>1 the number of the pilot farms the number of farmers who work at the pilot farms the list of the agricultural techniques and its contents the number of the extension workers' visits of the pilot farms 2 the number of the INA teachers/students' visits of the pilot farms the materials of the participatory agricultural extension training the number of the trainees and the classes of the training the personnel and budget for INA to conduct the training farmers' evaluation of the extension workers who received the training (before and after) 3 the number of visitors of the pilot farms the number of field trips the number of farmer groups who participate in the cooperation networking 4 the list of the information needed for farmers and its contents the number of visitors of the farmers information exchange center at INA the number of coordination meetings with other organizations</p>	<p>Farmers survey by project Trainees survey by project Project Activity Report Annual Work Plan for the pilot farms</p>	<p>Panamanian government's policy on agricultural development does not change drastically</p>
<p><u>Activities of the Project</u> 1-1 Identify the target communities to establish the pilot farms 1-2 Conduct participatory rural appraisals at the selected communities 1-3 Prepare Annual Work Plan for the pilot farms with the farmers 1-4 Transfer agricultural technology including farm management 1-5 Coordinate with other organizations working in the same community 1-6 Monitor and evaluate the activities with the farmers 2-1 Conduct needs analysis of the farmers 2-2 Prepare the curriculum of the training 2-3 Train the instructors 2-4 Prepare the materials 2-5 Conduct the training courses 2-6 Evaluate the training courses and materials 3-1 Furnish the necessary information to the pilot farms for the demonstration purpose 3-2 Strengthen the groups of the pilot farms in order to disseminate their activities 3-3 Conduct field trips 3-4 Promote the cooperation networking of the farmers 4-1 Compile useful information for the farmers 4-2 Establish the farmers information exchange center at INA 4-3 Conduct meetings between farmers and extension workers to exchange information 4-4 Coordinate rural development activities with other related organizations</p>	<p>[Inputs] <Japanese Side> Assignment of three long-term experts Agricultural Extension, Planning and Management of Agricultural Extension Training, Participatory Development Assignment of short-term experts gender, others Assignment of third-country experts tropical fruits, organic agriculture, livestock keeping, others Counterpart training in Japan(Planning and Management of Agricultural Extension) Third country training organic agriculture Provision of Equipment <Panamanian Side> Assignment of counterpart personnel Project Director, Project Manager, Agricultural Extension, Planning and Management of Agricultural Extension Training, Participatory Development Assignment of extension workers Assignment of supporting staff Administrator, Secretaries, Drivers, Farm workers, and Other necessary supporting staff) Provision of land, buildings and infrastructure Provision of operation budget</p>	<p>Farmers of the target area do not emigrate drastically. There is no frequent transfer of extension workers.</p>	<p>[Previous conditions] INA possesses agricultural techniques for the small-scale farmers. Small-scale farmers need sustainable agricultural techniques.</p>

Versioning info for PROPTA da JICA

ANNEX 2 ORGANIZATION CHART



*Version in file
now under run JICA
allan*

W

**MEMORANDUM OF UNDERSTANDING BETWEEN THE JAPAN INTERNATIONAL
COOPERATION AGENCY AND THE MINISTRY OF AGRICULTURAL
DEVELOPMENT OF THE REPUBLIC OF PANAMA
ON THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION FOR
THE SUSTAINABLE AGRICULTURAL TRAINING AND EXTENSION PROJECT
IN RURAL AREAS IN THE REPUBLIC OF PANAMA**

By and between the undersigned, **LYNETTE STANZIOLA**, in her capacity as Minister of Agricultural Development, authorized to do this act by Law No. 12 of 25th of January, 1973, hereinafter referred to as "MIDA", and **NAOKI KAI**, in his capacity as Resident Representative of the Panama Office of Japan International Cooperation Agency, hereinafter referred to as "JICA",

WITNESSETH

WHEREAS, the Republic of Panama and the Japan International Cooperation Agency, intend to jointly carry out a Sustainable Agricultural Training and Extension Project in Rural Areas in our country.

WHEREAS, both parties have held meetings in order to establish the bases for said project, as well as the organization structure and the implementation plan thereof.

WHEREAS, the Record and Minutes of Discussions between the Japan International Cooperation Agency and the Authorities concerned of the Government of the Republic of Panama, on the Japanese Technical Cooperation for the Sustainable Agricultural Training and Extension Project in Rural Areas, contain some matters that have been revalued by common consent between the parties, for which reason the changes approved must be written down.

NOW THEREFORE, MIDA and JICA, hereby

AGREE

To enter into this Memorandum of Understanding, which shall be subject to the following clauses:

FIRST: The expenses incurred by virtue of the provisions of paragraphs 4 and 5 of Article III of the Record of Discussions between the Japan International Cooperation Agency and the Authorities concerned of the Government of the Republic of Panama, on the Japanese Technical Cooperation for the Sustainable Agricultural Training and Extension Project in Rural Areas, denominated "MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF PANAMA", shall be totally borne by JICA, in case the Panamanian side cannot cover them.

SECOND: The expenses incurred by virtue of the compliance with the provisions of paragraph 3 of the ANNEX IV, titled "PRIVILEGES, EXEMPTIONS AND BENEFITS FOR JAPANESE EXPERTS, contained in the Record of Discussions mentioned in the previous paragraph, whether referred to public or private health institutions, shall be borne by JICA, in case the Panamanian side cannot cover them.


THIRD: The recognition of the exemptions stated in paragraphs 1, 2 and 6 of the ANNEX IV, denominated "PRIVILEGES, EXEMPTIONS AND BENEFITS FOR JAPANESE EXPERTS, above mentioned, in any case shall depend on what provided for by the Panamanian laws.

*version anglaise
preparada por
JICA
Lilkegules*

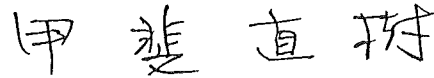
FOURTH: The Project Director and Manager, referred to in paragraph 4 of the Minutes of Meeting between the Japan International Cooperation Agency and the Authorities concerned of the Government of the Republic of Panama, on the Japanese Technical Cooperation for the Sustainable Agricultural Training and Extension Project in Rural Areas, whereby the Framework of the Technical Cooperation Project is established, shall be the Minister of MIDA or the person that he/she appoints, and the Principal of the National Institute of Agriculture (INA) or the person that he/she appoints, respectively.

FIFTH: This Memorandum of Understanding shall come into force upon its signing and shall be effective during the term that the Sustainable Agricultural Training and Extension Project in Rural Areas remains effective.

In witness whereof, the parties hereto have caused this Memorandum of Understanding to be signed this ninth (9th) day of December, 2003, in Panama City.


LYNNETTE STANZIOLA
Minister,
Ministry of Agricultural Development,
Republic of Panama

*versión inglés
preparada por JICA.*



NAOKI KAI
Resident Representative,
Panama Office,
Japan International Cooperation Agency,
Japan

TENTATIVE SCHEDULE OF IMPLEMENTATION
OF THE TECHNICAL COOPERATION
FOR
THE SUSTAINABLE AGRICULTURAL TRAINING AND EXTENSION PROJECT
IN RURAL AREAS IN THE REPUBLIC OF PANAMA

The Japan International Cooperation Agency had a series of discussions, through its Resident Representative in the Republic of Panama, with the Panamanian authorities concerned on the Tentative Schedule of Implementation for the Sustainable Agricultural Training and Extension Project in Rural Areas in the Republic of Panama (hereinafter referred to as the Project). As a result of the discussions, both sides jointly formulated the Tentative Schedule of Implementation for the Project as annexed hereto.

This has been formulated in accordance with the Attached Document of the Record of Discussion (hereinafter referred to as the R/D) signed in Panama City on December 9th, 2003, and is subject to change within the framework of the R/D, when necessity arises, in the course of the implementation of the Project.

Panama City, December 9th, 2003.

甲斐直樹

Mr. Naoki Kai
Resident Representative
Panama Office
Japan International Cooperation
Agency
Japan

Lynette Stanzola

Ms. Lynette M. Stanzola
Minister
Ministry of Agricultural Development
Republic of Panama

version in les
propria du jour 5/10/04

Tentative Schedule of Implementation (TSI) of the Project

Activities	calendar year		
	2004	2005	2006
0. Overall Project Management, Consolidation and Discussion of the Results			
(1) Programming			
1) Prepare annual plans of operation	■	■	■
(2) Monitoring and evaluation			
1) Monitoring		■	■
2) Final Evaluation			■
(3) Joint Coordinating Committee			
1) Meeting of Joint Coordinating Committee	■	■	■
(4) Development of necessary infrastructure for the activities of the project			
1) Improvement of the facilities of main office of INA	■		
2) Set up the Farmers Information Exchange Center	■		
1.A sustainable agricultural extension model is established for small-scale farmers			
(1) Adoption of appropriate agricultural techniques			
1-1. Identify the target communities to establish the pilot farms	■	■	
1-2. Conduct participatory rural appraisals at the selected communities	■	■	■
1-3. Prepare Annual Work Plan for the pilot farms with the farmers		■	■
1-4. Transfer agricultural technology including farm management		■	■
1-5. Coordinate with other organizations working in the same community	■	■	■
1-6. Monitor and evaluate the activities with the farmers		■	■
(2) Participatory agricultural extension training			
2-1. Conduct needs analysis of the farmers	■	■	■
2-2. Prepare the curriculum of the training		■	■
2-3. Train the instructors		■	■
2-4. Prepare the materials		■	■
2-5. Conduct the training courses		■	■
2-6. Evaluate the training courses and materials		■	■
(3) Agricultural extension service to the neighboring communities			
3-1. Furnish the necessary information to the pilot farms for the demonstration purpose		■	■
3-2. Strengthen the groups of the pilot farms in order to disseminate their activities		■	■
3-3. Conduct field trips		■	■
3-4. Promote the cooperation networking of the farmers		■	■
(4) Agricultural extension service through the farmers' initiative			
4-1. Compile useful information for the farmers		■	■
4-2. Establish the farmers information exchange center at INA	■	■	
4-3. Conduct meetings between farmers and extension workers to exchange information		■	■
4-4. Coordinate rural development activities with other related organizations	■	■	■

version mgds
prepara por JIR

b